



さあ、力を合わせて組織の再構築にはげよう

実際にコロナは容赦のない残酷な仕打ちであった。問答無用で組織をずたずたにした。日常を切り取り孤立無援の状態にした。私たちは目的を持ち目標を掲げて事業にまい進していた。まだ目標を達成するには志中半なのだ。意志を込め、力を集中して、事業をやり遂げなければならぬ。

さあ、皆なで力を合わせ、軸足を元にもどして頑張ろう。もうすぐ新しい素晴らしい未来が開けてくるのだ。



代表取締役社長 寺河 駿



「管理者研修了式」

悠遊社にとって宝の人材とも言うべき管理者(サブリーダー)の四人のみなさんが、全六回の本社での研修を終え、二月十五日に終了証が社長より授与されました。

授与されたのは村上祐子さん(近見)・土岐仁美さん(おだ)・丸橋里紗さん(南江戸)・三好啓太さん(ひまわり)の皆さんです。

おめでとう
ございます



研修を終えてホッとしたり笑顔のあと、キリッと引き締まった目に変わった皆さん、悠遊社の次世代を担っていかれる皆さんの姿を、とても頼もしく感じました。

「ちやがまる」

会社が大きくなると、支店や営業所など地域を超えて存在することになります。そうすると標準語だと思ってしまう。相手に伝わっていないという事を経験します。

方言でも、なんとなくニュアンスで通じるものもあれば、全く通じないものもあります。問題なのは「同じ言葉で全く意味が違う」という場合です。たとえば「なおす」ですが、「パソコンなおす」といって、全国的には「元の位置に片付ける」となるのですが、どうやら愛媛の人は「修理する」という意味になり、これが人物や生き物だと「治療する」という意味になります。また、「私工ラいので早退します」は「私は偉いので(地位が高いので)早く帰る」となるのですが、愛媛の人は「私、体が疲れた調子が悪い(の)」という意味になります。

言葉のいき違いで人間関係が、ちやがまらぬよう、ハテナと思つたら意図を聞き直すよう、心がけたいですね。(ちやがまるは壊れる・故障する・不具合が出る)



バレンタインのお客様

二月一四日のバレンタインデーに、可愛い子どもたちと保育士さんがサプライズでチョココレートを届けてくださいました。



プレゼントを届けてくださったのは、お隣のジャックと豆の木園の皆さんで、代表で受け取った伊藤事業本部長ほか、事務所の職員も窓際に集まって笑顔の花が咲きました。コロナ禍で交流が減っていましたが、「今年は交流ができるといいですね」と話されていました。



新入社員紹介

令和五年一月末までに入社した皆さんをご紹介します。(氏名・事業所・職務・コメントの順です。)



ドゴックフィンチン G.Hたんぼほ 介護職員 車の免許取得や日本語の勉強に頑張ります。

イティティンチュック G.Hたんぼほ 介護職員 沢山の事を学びながら、皆さんと一緒に笑顔で働きたいです。

チャンバンカイン デイきて民家 介護職員 早く介護を覚えられるように頑張ります!!

松原 寛 デイこぶしの花 介護職員 ご利用者様に笑顔で来ていただけるよう、頑張りたいと思います。

遠藤美香 ゆうゆう新居浜 介護職員 精一杯がんばります。よろしくお願ひします。

伊東みゆき ゆうゆう新居浜 介護職員 入居者さんと仲良くしていきたいです。今後ともよろしくお願ひ致します。

村上美穂子 重信の郷 介護職員 ご利用者様が楽しく充実した日々を送れるようお手伝いさせて頂きたいと思っています。

3月誕生日職員 福利厚生の一環として正社員10,000円・パートさん5,000円の誕生日お祝い金を支給いたします。

G.Hエーデルワイス 妻鹿 有志/G.Hくれない 渡部 好恵・有友 千奈美/有料よろこび 今城 冷子・徳永 真理子・山田 一輝/営業事務 須藤 やよい/花ぜん 久保 正彦/住んで民家 近見 林 由美/経理課 時津 菜月/サ高ゆう ゆう南江戸グエン ティ

チャー・福島 琉里/サ高ゆうゆう高松 古市 洋子/ゆうの季節 溝渕 友花/サ高住んで民家 今治 小野 璃穂/G.H 新町 林 ミドリ/有料 ゆうゆう三島 森井 綾子・宇都宮 亜紀/キッズ 小西 那都/鹿角 田井 優一朗/重信の郷 谷口 美鈴・藤村 洋平/春日 藤村 智津代

春日訪問 大谷 和子/紅葉の里おだ 木山 敦江・松永 洋子/ゆうゆう高岡 村上 和美/わっはっは 矢野 優美・深田 伸也・合田 香寿美/新居浜訪問 新本 真由美/針田 小倉 陽子/東石井 日和佐 洋平/小規模泉川 合田 絵里香・深田 奈穂/総務課 梶原 英樹/ゆうゆう西条 山内 綾美

井 清恵・渡部 智恵/訪看あんずグエン ティ ヒエン



「祝・百歳」
デイサービス花へんろ
二月十三日(月)に、ゆうゆう北
条・デイサービス花へんろで初め
ての百歳の利用者様ということ
で、ご家族様もお招きして、感染
対策に留意してお誕生日会を盛
大に行いました。



いつも笑顔が素敵な利用者様
です。
職員からはメッセーじカード
をプレゼントさせていただきま
した。



本当におめでとございます。

「日本一細長い半島、日本一海
に近い施設」地域密着型グルー
プホームとして、こんなすばら
しい環境の中で毎日おだやかに
過ごしています。
同じ敷地の中には、小さな十
名の園児が大きな園舎で毎日元
気に園庭を走り回る、そんな光
景が、何とも当たり前前に生活し
ております。



△現場で気づいた大事なこと▽
よろこび大久では、地域と密
着し、共存した生活を大事にし
ています。 コロナ禍で少し園
児達との行事、地区の盆おどり
大会が中止になりましたが、それ
でもハロウィン交流会やクリス
マス会等、最近では“節分”行
事です。 外気浴をしている
と、鬼に扮した保護者の方がや
つてこられて、入所者様もびっ
くり。でも“鬼は外”と一生
懸命豆をまきました。 保護者
の皆様ありがとうございます
た。 ある時はテラスで歌を歌
ったり、リズム体操をしていた
ら園庭で遊んでいた園児達が
“よろこび大久さく”と走っ

て来て一緒に歌ったり、踊っ
たり、日々自然な光景で楽しん
でいます。
広い敷地ですので、両施設の
環境整備も大変ですが、黒一点
の所長の出番です。 木々の剪定
からグラウンド草刈り、その草刈
りには老人クラブの方や保育所
職員も参加します。
グラウンドの一角には、園児達
が四季折々の野菜をつくってお
り、収穫した野菜を、利用者様
に届けてくれます。 昨秋に
は、焼き芋が届きました。 こ
うして一年中すばらしい環境の
中で、利用者様と地域の方々と
ふれあいニコニコ笑顔の毎日
です。

△地域共存▽ これこそが、
現場で気付いた大事なこと。 地
域の皆様から愛される施設”を
目指して日々実感しております。



ゆうゆう姫路は今年に入り、
新規利用者様依頼も多く1階フ
ロア―は満床になっています。
今月のレクレーションは2月
節分と言う事もあり鬼の面を作
り皆でポーズ☆



今日は毎月提携の理美容さん
が来られる日、皆さん綺麗に変
身です。



日々、カラオケや体操趣向を
職員が考え元気一杯に楽しく過
ごされています。



「ナシゴレン」をご存じでし
ようか。 これはインドネシ
ア・マレーシア・シンガポール
などの家庭で食べられていて、
分類的にはチャーハンや焼き飯
といったような、コメを炒めて
調理する料理の一つです。
調理方法はこれ
らとほとんど同
じで、使われる
具材も同じよう
なものです。が、
調味料がずいぶ
んと違っていて、
サンバル・ケチ
ャップマニス、
そしてトラシと
呼ばれるエビを発酵させたペー
ストなどが使われます。
仕上げに目玉焼きをトッピング
して、パクチーやキュウリな
どの野菜を添えると完成です。
作り方は焼き飯をつくれる人
であれば簡単で、調味料もカル
デイ等のお店で販売されていま
すので、ぜひ作ってみてくださ
い。 レシピは裏面に書かれて
います。



◆社員のつばやき◆
若くして誰一人知り合いのいない
他県に嫁ぐ私に、義姉が「○○さん、
見ざる聞かざる言わざるよ」と言っ
てくれた。
その時は十分に
意味もわからず
深く思う事もしな
かった。
半世紀たった今、いらん事言っ
たなあと反省しかり。
様々な個性の集った集団(職場)にお
いてもこのことわざが通用するよう
に思える。
また、「人の振り見てわが振り直せ」
このようなことを少し気にするだけ
で職場の空気が丸くなるように感じ
ます。



一月は「いく」二月は「にげ
る」といいますが、三月も「さ
る」ように過ぎていくのかなと
思っています。
さて、「ゆうゆう新聞」のスタ
イルも、だいぶ出来つつありま
すが、表面には会社の行事やニ
ュースを社内外に向けて発信、
また共有すべき話題を配置する
ように心がけています。 裏面
は、各施設から頂いた記事やフ
リートワーク的なものを中心に堅
苦しくなく、ほのぼのとした雰
囲気的话题を掲載しています。
時折原稿落ちやスペースが開く
ような時には、役に立てる記
事、特にパソコン関係の便利な
使い方等を掲載できればと思っ
ています。

基本的には編集者が書く記事
ではなく、社員の皆様からお寄
せいただいた話題を中心に構成
できればと思いますので、なに
とぞ当番の折は
毎月一五日の締
め切りにはご投
稿いただきます
よう、お願い致
します。



発行 株式会社悠遊社
編集 広報担当
連絡先 愛媛県松山市余戸南
二・二四・三十八
電話 〇八九九六五・一九九〇
連絡先 koho@vivyusya.co.jp
配布 令和五年毎月一日